



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月10日

上場会社名 曙ブレーキ工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7238 URL <https://www.akebono-brake.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 宮地 康弘
 問合せ先責任者 (役職名) 事業管理部長 (氏名) 小野崎 正史 (TEL) 048-560-1501
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	71,176	5.4	△264	—	4,918	66.6	4,610	105.1
2022年3月期第2四半期	67,520	11.6	3,101	—	2,953	—	2,248	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 4,328百万円(△7.8%) 2022年3月期第2四半期 4,692百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	34.51	9.35
2022年3月期第2四半期	16.83	4.98

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	145,941	53,227	31.4
2022年3月期	139,674	48,901	30.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 45,779百万円 2022年3月期 42,582百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	152,000	12.2	3,000	△29.3	2,000	△67.1	100	△97.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期2Q	135,992,343株	2022年3月期	135,992,343株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2023年3月期2Q	2,408,649株	2022年3月期	2,413,809株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期2Q	133,581,525株	2022年3月期2Q	133,578,654株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、当社グループをとりまく経営環境の変化、市場の動向、為替の変動等の様々な要因により、大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下の通りです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00			
2023年3月期(予想)			—	—	—

(注) 1. A種類株式の発行数は20,000株であり、2019年9月30日に発行しております。

2. 2023年3月期の期末の配当予想額は、現時点では未定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	11
3. 補足情報	
2023年3月期 第2四半期連結累計期間 決算概要	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社第2四半期(2022年4月1日～2022年9月30日)における当社グループを取り巻く事業環境は、世界的な半導体不足や、中国のロックダウンによる部品供給不足などのサプライチェーン問題に起因する完成車メーカーの減産に加え、地政学的リスクの増大などによる原材料価格やエネルギーコストの市況高騰など、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間(注)における当社グループの業績は、半導体不足や新型コロナウイルスの感染再拡大に起因するサプライチェーン問題による完成車メーカーの工場稼働停止により受注が減少しましたが、円安の影響により、売上高は712億円(前年同期比5.4%増)となりました。

利益面では、受注減少による利益の減少を挽回するべく固定費の削減や労務費の適正化などに努めたものの、原材料価格やエネルギーコストの市況高騰が大きく影響し、営業損失は3億円(前期は営業利益31億円)となりました。経常利益は、為替相場の変動により当社が保有する関係会社への外貨建ての貸付金に対して発生した為替差益などにより49億円(前年同期比66.6%増)となりました。

特別損益については、フランスにおける閉鎖した拠点の資産売却により固定資産売却益を計上しました。これにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は46億円(前年同期比105.1%増)となりました。

(単位：億円)

	前期	当期	増減	増減率
売上高	675	712	37	5.4%
営業利益	31	△3	△34	－%
経常利益	30	49	20	66.6%
税金等調整前四半期純利益	33	54	21	63.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	22	46	24	105.1%

地域セグメントごとの業績は次の通りです。

(単位：億円)

	売上高				営業利益			
	前期	当期	増減	増減率	前期	当期	増減	増減率
日本	326	323	△3	△0.9%	27	4	△23	△86.1%
北米	162	188	26	16.2%	△12	△12	0	－%
欧州	63	61	△2	△2.7%	△0	△3	△3	－%
中国	57	51	△6	△10.2%	2	△3	△5	－%
タイ	34	32	△3	△7.4%	5	3	△2	△47.8%
インドネシア	86	106	19	22.5%	9	8	△1	△15.9%
連結消去	△53	△49	4	－%	1	1	0	26.6%
連結	675	712	37	5.4%	31	△3	△34	－%

① 日本

前期から継続する半導体不足に加え、中国のロックダウンによる部品供給の停滞で完成車メーカーが減産を余儀なくされた影響により、売上高は323億円(前年同期比0.9%減)となりました。

利益面では、原材料価格やエネルギーコストの市況高騰影響の一部を販売価格に転嫁したことに加え、材料スクラップ率改善や生産性向上などの合理化による利益の確保に努めたものの、売上高減少及び原材料価格などの市況高騰の影響は大きく、営業利益は4億円(前年同期比86.1%減)となりました。

② 北米

半導体不足による完成車メーカーの減産影響の継続があった一方で、補修品ビジネスにおいては市場における摩擦材製品の交換需要増加や円安の影響により、売上高は188億円(前年同期比16.2%増)となりました。

利益面では、補修品ビジネスの受注増加に加え、人員の適正化などの合理化や経費削減に努めたものの、原材料価格やエネルギーコストの市況高騰の影響を受け、営業損失は12億円(前期は営業損失12億円)となりました。

③ 欧州

半導体不足の影響は足元では縮小傾向にあるものの、ウクライナ情勢の影響やサプライチェーン問題による完成車メーカーの減産、フランスのアラス工場を6月末に閉鎖したことにより、売上高は61億円(前年同期比2.7%減)となりました。

利益面では、生産性向上などの合理化に努めたものの、原材料価格やエネルギーコストの市況高騰の影響などにより、営業損失は3億円(前期は営業損失0.4億円)となりました。

④ 中国

上海のロックダウンによる物流停止や、半導体不足などの影響に加え、主要な日系完成車メーカーを中心に受注が減少し、売上高は51億円(前年同期比10.2%減)となりました。

利益面では、生産性向上などの合理化に努めたものの、売上高減少による利益の減少に加え、原材料価格やエネルギーコストの市況高騰が影響し、営業損失は3億円(前期は営業利益2億円)となりました。

⑤ タイ

主力製品の受注は好調な一方で、日系完成車メーカーのモデルチェンジによる生産終了や、半導体不足による完成車メーカーの減産影響があり、売上高は32億円(前年同期比7.4%減)となりました。

利益面では、材料スクラップ率改善や生産性向上などの合理化や経費削減に取り組んだものの、売上高減少及び原材料価格などの市況高騰の影響により、営業利益は3億円(前年同期比47.8%減)となりました。

⑥ インドネシア

一部半導体不足の影響はあったものの、政府による新車購入時の奢侈税免除・減税効果により小型乗用車用製品の受注が好調なことから、売上高は106億円(前年同期比22.5%増)となりました。

利益面では、売上高増加による利益の増加があったものの、市況高騰や前期に発生したインドネシア工場火災によるエキストラ費用の発生があり、営業利益は8億円(前年同期比15.9%減)となりました。

(注) 当第2四半期連結累計期間とは

(1) 北米・中国・タイ・インドネシア：2022年1月～2022年6月

(2) 日本・欧州：2022年4月～2022年9月 となります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(単位：億円)

(資産の部)	前期末	当期末	増減	(負債・純資産の部)	前期末	当期末	増減
流動資産	749	780	31	流動負債	318	342	25
現金及び預金	303	268	△35	仕入債務	176	196	19
売上債権	250	284	34	有利子負債	10	14	4
棚卸資産	167	193	27	その他	131	132	1
その他	29	34	5	固定負債	590	585	△5
固定資産	648	680	32	有利子負債	482	488	6
有形固定資産	466	503	37	その他	109	97	△11
投資有価証券	77	65	△12	負債合計	908	927	19
その他	105	111	6	純資産	489	532	43
総資産	1,397	1,459	63	負債・純資産	1,397	1,459	63

(資産)

当期末の資産は1,459億円と前期末比63億円の増加となりました。

流動資産は780億円と前期末比31億円の増加となりました。これは主に、設備投資などにより現預金が35億円減少した一方で、円安の影響や受注の回復などにより売上債権が34億円、棚卸資産が27億円それぞれ増加したことによるものです。固定資産は680億円と前期末比32億円の増加となりました。これは主に、減価償却費を計上した一方で設備投資及び円安の影響により有形固定資産が37億円増加したことによるものです。

(負債)

当期末の負債は927億円と前期末比19億円の増加となりました。これは主に、円安の影響や受注の回復などの影響により仕入債務が19億円増加したことによるものです。なお、有利子負債残高502億円から「現金及び預金」を控除したネット有利子負債残高は234億円であります。

(純資産)

当期末の純資産は532億円と前期末比43億円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が46億円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当期末の現金及び現金同等物は、前期末比35億円減少の268億円となりました。

(単位：億円)

	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	19	44	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	7	△32	△39
計			
(フリー・キャッシュ・フロー)	26	12	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8	△16	△8
換算差額	2	△31	△33

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

主な要因として、税金等調整前四半期純利益54億円や減価償却費31億円があった一方で、売上債権の増加額△14億円や棚卸資産の増加額△7億円などがあり、資金が増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主な要因として、フランスにおける閉鎖した拠点の資産売却などにより有形及び無形固定資産の売却による収入8億円があった一方で、日本・北米を中心とした設備投資により有形及び無形固定資産の取得による支出40億円の計上などがあり、資金が減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

主な要因として、長期借入金の返済による支出9億円、ファイナンス・リース債務の返済による支出3億円及び非支配株主への配当金の支払額4億円などにより、資金が減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、サプライチェーン問題に起因する完成車メーカーの減産に加え、原材料価格やエネルギーコストの市況高騰など、為替の変動を含め先行き不透明な状況が続いております。今後、業績予想に修正が必要であると見込まれる場合には速やかに開示いたしますが、現時点の通期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表した内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,303	26,808
受取手形及び売掛金	25,024	28,428
商品及び製品	5,171	5,382
仕掛品	1,918	2,460
原材料及び貯蔵品	9,582	11,492
その他	2,958	3,505
貸倒引当金	△98	△103
流動資産合計	74,856	77,972
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	48,257	50,601
減価償却累計額	△38,331	△40,096
建物及び構築物（純額）	9,926	10,505
機械装置及び運搬具	139,992	147,192
減価償却累計額	△120,820	△126,678
機械装置及び運搬具（純額）	19,172	20,513
土地	13,315	13,457
建設仮勘定	2,430	3,943
その他	22,632	23,587
減価償却累計額	△20,869	△21,683
その他（純額）	1,763	1,904
有形固定資産合計	46,607	50,323
無形固定資産	2,430	2,606
投資その他の資産		
投資有価証券	7,729	6,543
退職給付に係る資産	6,214	6,458
繰延税金資産	672	777
その他	1,167	1,263
投資その他の資産合計	15,782	15,041
固定資産合計	64,818	67,969
資産合計	139,674	145,941

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,623	19,572
1年内返済予定の長期借入金	600	1,150
リース債務	403	272
未払法人税等	493	550
未払費用	6,732	6,427
賞与引当金	1,233	1,216
設備関係支払手形	1,108	458
その他	3,560	4,566
流動負債合計	31,752	34,210
固定負債		
長期借入金	47,790	48,534
リース債務	366	250
役員退職慰労引当金	3	4
退職給付に係る負債	2,506	2,757
繰延税金負債	3,289	2,988
再評価に係る繰延税金負債	1,617	1,617
その他	3,451	2,354
固定負債合計	59,022	58,504
負債合計	90,773	92,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,939	19,939
資本剰余金	2,366	2,363
利益剰余金	13,423	18,033
自己株式	△1,612	△1,609
株主資本合計	34,116	38,726
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,082	3,251
土地再評価差額金	3,790	3,790
為替換算調整勘定	△777	△1,188
退職給付に係る調整累計額	1,371	1,200
その他の包括利益累計額合計	8,466	7,053
新株予約権	3	22
非支配株主持分	6,316	7,426
純資産合計	48,901	53,227
負債純資産合計	139,674	145,941

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	67,520	71,176
売上原価	57,831	64,786
売上総利益	9,689	6,390
販売費及び一般管理費	6,588	6,654
営業利益又は営業損失(△)	3,101	△264
営業外収益		
受取利息	38	51
受取配当金	98	104
為替差益	357	5,077
その他	76	583
営業外収益合計	569	5,815
営業外費用		
支払利息	433	468
製品補償費	67	24
その他	217	140
営業外費用合計	717	632
経常利益	2,953	4,918
特別利益		
固定資産売却益	504	523
受取保険金	—	86
特別利益合計	504	609
特別損失		
固定資産除売却損	54	57
事業構造改善費用	121	110
特別損失合計	175	167
税金等調整前四半期純利益	3,282	5,360
法人税、住民税及び事業税	591	428
法人税等調整額	38	75
法人税等合計	629	503
四半期純利益	2,653	4,857
非支配株主に帰属する四半期純利益	405	247
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,248	4,610

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	2,653	4,857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	854	△831
為替換算調整勘定	1,270	505
退職給付に係る調整額	△86	△202
その他の包括利益合計	2,039	△529
四半期包括利益	4,692	4,328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,958	3,197
非支配株主に係る四半期包括利益	734	1,131

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,282	5,360
減価償却費	2,769	3,067
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△4
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△382	△406
受取利息及び受取配当金	△136	△155
支払利息	433	468
固定資産除売却損益(△は益)	△450	△466
売上債権の増減額(△は増加)	3,131	△1,386
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,277	△666
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,253	686
その他	△316	△575
小計	3,799	5,923
利息及び配当金の受取額	136	155
利息の支払額	△431	△468
法人税等の支払額	△428	△565
法人税等の還付額	27	28
保険金の受取額	—	86
事業再編による支出	△1,045	△607
その他	△200	△200
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,858	4,352
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,830	△3,968
有形及び無形固定資産の売却による収入	2,506	792
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
その他	19	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	695	△3,158
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△300	△870
非支配株主への配当金の支払額	△165	△429
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△314	△285
自己株式の純増減額(△は増加)	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△779	△1,585
現金及び現金同等物に係る換算差額	213	△3,103
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,987	△3,495
現金及び現金同等物の期首残高	29,592	30,303
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,580	26,808

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	中国	タイ	インド ネシア			
売上高									
外部顧客への 売上高	28,906	15,667	6,052	5,652	3,209	8,034	67,520	—	67,520
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,649	537	228	68	230	593	5,305	△5,305	—
計	32,555	16,204	6,280	5,720	3,438	8,627	72,825	△5,305	67,520
セグメント利益 又は損失(△)	2,660	△1,214	△44	178	504	920	3,005	96	3,101

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	中国	タイ	インド ネシア			
売上高									
外部顧客への 売上高	29,148	18,153	5,925	4,778	3,010	10,163	71,176	—	71,176
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,121	677	184	358	173	403	4,915	△4,915	—
計	32,269	18,830	6,108	5,135	3,183	10,566	76,091	△4,915	71,176
セグメント利益 又は損失(△)	369	△1,198	△320	△274	263	774	△386	121	△264

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2023年3月期 第2四半期連結累計期間 決算概要

2022年11月10日

1. 連結業績

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (2021. 4～2021. 9)		当第2四半期連結累計期間 (2022. 4～2022. 9)		増減	増減率
売上高	(100. 0)	67, 520	(100. 0)	71, 176	3, 656	5. 4%
売上総利益	(14. 4)	9, 689	(9. 0)	6, 390	△3, 300	△34. 1%
営業利益	(4. 6)	3, 101	(—)	△264	△3, 365	—
経常利益	(4. 4)	2, 953	(6. 9)	4, 918	1, 966	66. 6%
特別損益		329		442	113	34. 3%
税前四半期純利益	(4. 9)	3, 282	(7. 5)	5, 360	2, 078	63. 3%
法人税等・調整額		629		503	△125	△20. 0%
非支配株主に帰属する四半期純利益		405		247	△158	△39. 1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	(3. 3)	2, 248	(6. 5)	4, 610	2, 362	105. 1%
総資産	(前期末)=2022年3月期	139, 674	(当期末)	145, 941	6, 267	4. 5%
純資産	(前期末)	48, 901	(当期末)	53, 227	4, 327	8. 8%
自己資本	(前期末)	42, 582	(当期末)	45, 779	3, 198	7. 5%
自己資本比率	(前期末)	30. 5%	(当期末)	31. 4%		0. 9%
現預金	(前期末)	30, 303	(当期末)	26, 808	△3, 495	
有利子負債	(前期末)	49, 159	(当期末)	50, 205	1, 047	
ネット有利子負債	(前期末)	18, 856	(当期末)	23, 398	4, 542	
ネットD/Eレシオ	(前期末)	0. 44倍	(当期末)	0. 51倍	+0. 07倍	
営業CF (内数：減価償却費)		1, 858 (2, 769)		4, 352 (3, 067)	2, 494 (298)	
投資CF (内数：設備投資)		695 (△1, 830)		△3, 158 (△3, 968)	△3, 853 (△2, 137)	
フリーCF		2, 553		1, 194	△1, 359	
財務CF		△779		△1, 585	△807	
連結子会社数	(前期末)	19社	(当期末)	19社	—	
期中平均レート	USD	USD 108. 5円	USD	USD 124. 5円	16. 1円	
	EUR / CNY	EUR 131. 2円/ CNY 16. 8円	EUR 139. 1円/ CNY 19. 1円	8. 0円/ 2. 4円		
	THB / IDR	THB 3. 5円/ IDR 0. 008円	THB 3. 7円/ IDR 0. 009円	0. 2円/ 0. 001円		

2. 地域別業績

(単位：百万円)

		前第2四半期連結累計期間 (2021. 4～2021. 9)		当第2四半期連結累計期間 (2022. 4～2022. 9)		増減	増減率	為替換算 影響
売上高	日本		32, 555		32, 269	△287	△0. 9%	—
	北米		16, 204		18, 830	2, 626	16. 2%	2, 430
	欧州		6, 280		6, 108	△172	△2. 7%	350
	中国		5, 720		5, 135	△585	△10. 2%	636
	タイ		3, 438		3, 183	△255	△7. 4%	156
	インドネシア		8, 627		10, 566	1, 939	22. 5%	1, 229
	連結消去		△5, 305		△4, 915	390	—	—
	連結		67, 520		71, 176	3, 656	5. 4%	4, 801
営業利益	日本	8. 2%	2, 660	1. 1%	369	△2, 291	△86. 1%	—
	北米	—	△1, 214	—	△1, 198	16	—	△155
	欧州	—	△44	—	△320	△276	—	△18
	中国	3. 1%	178	—	△274	△452	—	△34
	タイ	14. 7%	504	8. 3%	263	△241	△47. 8%	13
	インドネシア	10. 7%	920	7. 3%	774	△146	△15. 9%	90
	連結消去	—	96	—	121	26	26. 6%	—
	連結	4. 6%	3, 101	—	△264	△3, 365	—	△104